



森田 則子

防災・減災の現状

問 府は10年後の住宅建築物の耐震化率9割をめざしているが「民間建築物耐震診断等補助事業」の活用状況と耐震診断交付金申請について問う。

答 2件の事前相談があり、内1件が耐震診断実施予定。来年の交付申請は、今後の結果を踏まえ検討し、国へ要望を行いたい。

問 大阪北部地震で学校のブロック塀倒壊の事故を受け、通学路上の民間のブロック塀に関して改修・撤去費用の公費補助を行えないか。

答 他の市町村に、補助制度があるのは、聞いているが、専門家の調査も含めて検討したい。

防災・減災の強化で命とまちを守る

問 避難行動要支援者の調査が、今年実施されるが、名簿の災害時、避難誘導・安否確認等の具体的な活用方法を問う。

答 関係機関に協力を求め共有することで支援体制を構築していきたい。



今後の課題と取り組み

問 地震の死因の6割が建物・家具の圧死とのデータがある。「家具転倒防止器具」を、要介護者や単独高齢者へ補助してはどうか。

答 現在補助制度はないが、国の動向を見守っていききたい。

問 自然環境が厳しい時代に入り、災害から生き抜く力をつけるため、小中学校で防災士など専門家による防災教育を行ったらどうか。

答 学校教育9年間の中で、防災教育の積み重ねを基本とし、消防団・地域の防災専門家の日頃の活動を肌で感じてもらう総合的に防災教育に取り組んでいきたい。

問 災害時、避難所運営や支援活動に、社会福祉協議会と連携した女性防災リーダーの組織づくりをしてはどうか。

答 防災活動への女性参加や、リーダーの育成に努め、関連機関と連携して取り組みたい。

一般質問



奥 久明

本町の魅力を町外へ発信

問 他の自治体と比較して本町の魅力は何だと考えているか。

答 都市近郊の地の利、豊かな食、生物多様性に富んだ循環の仕組み、美しい景観と考える。

問 現在どのような方法で本町の魅力を発信しているのか。

答 ウェブサイトや観光情報誌、イベント開催、PRを行っている。

問 直近で本町の魅力を町外へアピールしたことや情報更新はあるか。

答 移住者向け情報サイトで詳細な情報、住民向けの助成や支援策等の掲載、企業立地促進に関する情報の更新を行った。

問 昨年、ホームページがスマートフォン対応となった。さらにスマートフォンアプリを利用して本町の魅力をアピールしてはどうか。

答 広報へのQRコード掲載、子育てモバイル配信サービスのせつ子未来応援ナビを提供している。情報の種類や内容、ニーズに応じてアプリケーションの効果的な活用を検討していく。



問 インスタグラムを使用して本町の魅力である豊かな食、美しい景観を発信してはどうか。

答 できるだけ多くの方に見てもらうためホームページやSNSで情報発信を行っている。今後必要なアプリや必要な情報をどのように発信していくか引き続き検討していく。



問 若年層に本町を知ってもらうため、協力者に頼んでYouTubeの動画作成はできないか。

答 動画では「あそべる能勢」をアップしている。費用対効果の点も含めてしっかり検討していく。